

受贈誌お礼

令和4年1月以降、下記の文芸誌を受贈いたしました。厚くお礼申し上げます。ご惠贈いただいた文芸誌は、貴重な資料として活用させていただきます。

九州文學第8期通巻第578号、季刊午前第60号、南風第51号、照葉樹二期第21号、詩と眞実第871号～第876号、火山地帯第204号～第205号、龍舌蘭第204号～第205号、火の鳥第31号、小説春秋第32号、文芸中部第118～119号、弦第111号、じゅん文学第107号、日曜作家第37号～第38号、彩雲第15号、季刊遠近第78～79号、群系第47号、響第28号、あんN055号、千年樹第88号～第90号、文芸思潮第82号、季刊文科第84号、全作家短編集第20巻、全国同人雑誌協会ニュースレター第3号、文学館倶楽部N033（福岡市文学館）、輝ける闇の異端児 アルチュール・ランボー（井本元義・小説）、帰心、その夢（後銀作・小説）（順不同）

『海』のニュース

- 1) 『文芸同志会通信』（2022年1月10日「詩人回廊」編集人・伊藤昭一氏による）
 - ・次の作品が紹介された。
「黄色い朝」神宮吉昌、「織坂幸治追悼小特集」同人各氏、「真凜の世界」高岡啓次郎、「コンパクトタウン」川村道行
- 2) 『西日本文学展望』（2022年4月28日 宮崎大学・茶園梨加氏による）
 - ・次の作品が紹介された。
「タイム・スクリーンへの誘い」有森信二
 - ・「コンパクトタウン」川村道行について触れていただき、昨年10月に川村氏が逝去したことを知ったとの付記をいただいた。
- 3) 『随筆喫茶』（2022年4月17日 「西日本新聞『くらし』欄」）
 - ・井本元義の随筆「旅の喜び」が掲載された。
 - ・何十度もパリを訪れている井本氏であるが、30数年前に憧れのパリに初めて行ったときの、「その初々しさ!」。「巴里（パリ）の街、セヌ川、竹まい、そのもろもろを実際に見たときの感動」が、とても素直に書かれている。
- 4) 『全国同人雑誌協会』ニュースレター 第3号（2022年5月7日）
 - ・『全国同人雑誌協会』会員からの「2022年同人雑誌優秀作推薦」作品として、次の作品名が掲載された。
「風に揺れる葉」牧草 泉（『海』第26号<通巻第93号>掲載作品）
作品コメント：元担任と私の交錯する心理を巧みに描いている。



- 1) 『海』の作品の投稿や編集は、現在の方法（『海』第一期からの方法をおおむね引き継いだかたち）で行っていますが、掲載作品の選考などに当たり、もう少し編集委員会の役割を生かした方向で行い得ないかなどについて、検討を行いたいと考えています。
- 2) パソコンなどの扱いに優れた同人に、編集委員としての参加を得るなどし、情報の発信の仕方や扱い方、用い方について、検討を行いたいと考えています。

(U)